

## 令和4年度第2回平塚市下水道運営審議会次第

日時 令和5年2月6日(月)  
14:00～16:00  
場所 平塚市役所  
本館5階 519会議室

### 1 議題

(1) 平塚市下水道中期ビジョンのまとめ

(2) 平塚市下水道事業経営戦略 令和3年度進捗状況報告

### 2 その他

# 平塚市下水道運営審議会委員名簿

令和4年6月24日現在

(敬称略：順不同)

氏名	選出区分	選出母体	備考
あきさわ まさひさ 秋澤 雅久	市議会議員	平塚市議会	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで
えぐち ともこ 江口 友子	市議会議員	平塚市議会	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで
にしだ さゆり 西田 小百合	学識経験者	東海大学	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで
ながよし かつみ 永吉 克己	学識経験者	神奈川県企業庁 平塚水道営業所	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで
わたなべ ひろのり 渡部 宏則	学識経験者	公益財団法人 神奈川県下水道公社	令和4年4月1日から 令和5年6月30日まで
しまだ たかし 島田 敬志	排水設備を設置すべき者 又は使用者	平塚商工会議所	令和4年6月24日から 令和5年6月30日まで
こみや たもつ 小宮 保	排水設備を設置すべき者 又は使用者	平塚市自治会連絡協議会	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで
つゆき きよし 露木 潔	排水設備を設置すべき者 又は使用者	平塚市農業委員会	令和3年7月31日から 令和5年6月30日まで
いしぐろ しんべい 石黒 新平	排水設備を設置すべき者 又は使用者	平塚市農業集落排水事業 連絡協議会	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで
あいはら たかふみ 相原 隆文	排水設備を設置すべき者 又は使用者	公募委員	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで
かい しげお 甲斐 栄男	排水設備を設置すべき者 又は使用者	公募委員	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで

# 平塚市下水道中期ビジョン (平成24年度～令和3年度) のまとめ



調整池からの雨水排出量を動力不要で調整できる流量制御装置  
(日向岡調整池)

平塚市

「平塚市下水道中期ビジョン」は、平塚市の下水道が抱える課題を整理し、10年間で目指すべき方向性と取組内容を示すものとして、平成24年度に策定しました。

基本理念を「次世代へつなぐ快適環境～暮らしをささえる下水道～」とし、「良好な生活環境の実現」、「災害に強い下水道」、「施設の計画的かつ効率的な維持管理」、「経営基盤の強化及び効率化」の4つの基本方針のもと、施策に取り組み、事業を推進してきました。

平成28年の中間年次には、目標達成度合い等の検証による見直しを行い、改訂版を策定して更なる課題に取り組みました。

令和3年度末で計画期間を終了したことから、事業の達成状況について報告します。

## 基本方針1 良好な生活環境の実現

### 1 未普及地域の解消

生活排水を処理し公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、ツインシティ大神地区等の污水管を整備するなど、未普及地域の解消を進めました。

実施事業	指標	後期目標値	後期実績	達成状況
污水管整備	下水道処理人口普及率	97.6%	97.6%	達成

### 2 合流式下水道の改善

合流管路への雨水流入抑制のため、宅内浸透施設の設置促進を行いました。

## 基本方針2 災害に強い下水道

### 1 浸水対策の推進

浸水から都市を守るため、平塚市総合浸水対策基本計画に基づき、重点対策地区の雨水管や雨水浸透樹の整備、土のうステーションの設置などの対策を進めました。  
また、排水ポンプ車を購入するとともに、内水ハザードマップの見直しも実施しました。

実施事業	指標	後期目標値	後期実績	達成状況
雨水管整備	雨水整備率	76.3%	77.6%	達成
雨水流出抑制	雨水浸透樹の設置個数	215,000個	222,085個	達成
総合的な浸水対策	床上浸水重点対策地区数	0	2	未達成*
自助対策の支援	土のうステーションの設置数	15	16	達成

○未達成の要因：総合的な浸水対策について、関係機関との協議の長期化により未達成となりました。

※令和4年度に1箇所の対応を完了しました。

## 2 地震対策の推進

大地震の発生時も下水道機能の維持が図られるよう、緊急輸送路に埋設されている下水道管やポンプ施設の耐震化を進めました。

実施事業	指標	後期目標値	後期実績	達成状況
管渠施設耐震化	緊急輸送路の耐震化率	国道1号・129号耐震化43%	国道1号・129号耐震化17%	未達成
ポンプ施設耐震化	耐震化整備箇所	1箇所	0箇所	未達成

○未達成の要因：関係機関との協議の長期化や、工事の再検討等により未達成となりました。

## 基本方針3 施設の計画的かつ効率的な維持管理

- 1 計画的かつ効率的な維持管理
- 2 施設の長寿命化対策

事故の未然防止や安定した下水道機能の維持が図られるよう、ストックマネジメント手法を用いて、計画的かつ効率的な管理及び下水管やポンプ施設の長寿命化を進めました。また、不明水について、県と連携して調査及び対策工事を実施しました。

実施事業	指標	後期目標値	後期実績	達成状況
不明水対策	不明水の削減量	14,000 m <sup>3</sup>	5,406 m <sup>3</sup>	未達成

○未達成の要因：不明水対策については、下水道施設の老朽化や排水設備の誤接続など、原因が多岐に渡り、特定に想定以上に時間を要したため、未達成となりました。

実施事業	指標	後期目標値	後期実績	達成状況
管渠施設の長寿命化対策	合流区域の長寿命化整備進捗率	45%	60%	達成
ポンプ施設の長寿命化対策	長寿命化整備箇所	1箇所	0箇所	未達成*

○未達成の要因：ポンプ場の長寿命化対策について、部品納品の遅れ等により未達成となりました。  
※令和4年度に1箇所の対応を完了しました。

## 基本方針4 経営基盤の強化及び効率化

- 1 投資計画の健全化～経営戦略の策定～

令和3年3月に平塚市下水道事業経営戦略を策定し、投資の優先順位や金額・時期の平準化を図る投資計画をまとめました。また、借入額を抑制することで、借入金の残高減少を図りました。

実施事業	指標	後期目標値	後期実績	達成状況
投資計画の策定	借入金の残高	331億円	324億円	達成

- 2 使用料の適正化

経費の節減と使用料収入の確保により、平成28年度以降の経費回収率は100%以上を維持しました。  
また、中長期的な使用料のあり方について、検討を進めました。

実施事業	指標	後期目標値	後期実績	達成状況
使用料の検証	経費回収率	100%	116.1%	達成
下水道接続促進	接続率	98.6%	97.7%	未達成

○未達成の要因：下水道接続促進について、家屋の老朽等により普及が進まず、未達成となりました。

目標を設定した14の指標のうち、8の指標で目標を達成しましたが、6の指標で未達成となりました。引き続き、対応を続けていきます。

それぞれの施策については、令和4年に策定した「平塚市新下水道ビジョン」に掲げた基本理念・基本方針のもと、新たな課題や今後の方向性を整理し、平塚市下水道事業経営戦略や平塚市総合浸水対策基本計画などの各個別計画で事業の推進及び進捗管理を実施しています。

## 達成状況一覧

基本方針	施策の展開	実施事業	指標	策定時の値 H23年度末	前期 H24～28		後期 H29～R3		達成状況
					目標値	実績値	目標値	実績値	
良好な生活環境の実現	未普及地域の解消	汚水管整備	下水道処理人口普及率	96.4%	97.5%	97.4%	97.6%	97.6%	達成
	合流式下水道の改善	貯留管整備	合流式下水道改善率	73%	100%	100%	—	—	達成
災害に強い下水道	浸水対策の推進	雨水管整備	雨水整備率	76.2%	78.6%	76.1%	76.3%	77.6%	達成
		雨水流出抑制	雨水浸透樹の設置個数	165,000個	190,000個	191,224個	215,000個	222,085個	達成
		総合的な浸水対策	床上浸水重点対策地区数	—	—	6	0	2	未達成 (R4年度1箇所対応済)
		自助対策の支援	土のうステーションの設置数	—	—	11	15	16	達成
	地震対策の推進	管渠施設耐震化	緊急輸送路の耐震化率	—	国道1号耐震化100%	国道1号耐震化56%	国道1号・129号耐震化43%	国道1号・129号耐震化17%	未達成
		ポンプ施設耐震化	耐震化整備箇所	—	1箇所	0箇所	1箇所	0箇所	未達成
施設の計画的かつ効率的な維持管理	計画的かつ効率的な維持管理	不明水対策	不明水の削減量	—	7,000 m <sup>3</sup>	3,142 m <sup>3</sup>	14,000 m <sup>3</sup>	5,406 m <sup>3</sup>	未達成
	施設の長寿命化対策	管渠施設の長寿命化対策	合流区域の長寿命化整備進捗率	—	120ha	120ha	45%	60%	達成
		ポンプ施設の長寿命化対策	長寿命化整備箇所	—	1箇所	0箇所	1箇所	0箇所	未達成 (R4年度1箇所対応済)
経営基盤の強化及び効率化	投資計画の健全化～経営戦略の策定～	投資計画の策定	借入金の残高	579億円	436億円	423億円	331億円	324億円	達成
	使用料の適正化	使用料の検証	経費回収率	99.4%	100%	100%	100%	116.1%	達成
		下水道接続促進	接続率	94.7%	96.7%	96.9%	98.6%	97.7%	未達成

平塚市下水道中期ビジョン（平成24年度～令和3年度）のまとめ  
 令和5年2月  
 平塚市土木部  
 下水道経営課・下水道整備課  
 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号  
 電話 0463-23-1111（代） 内線 2448

# 平塚市下水道事業経営戦略

令和3年度 進捗状況報告書

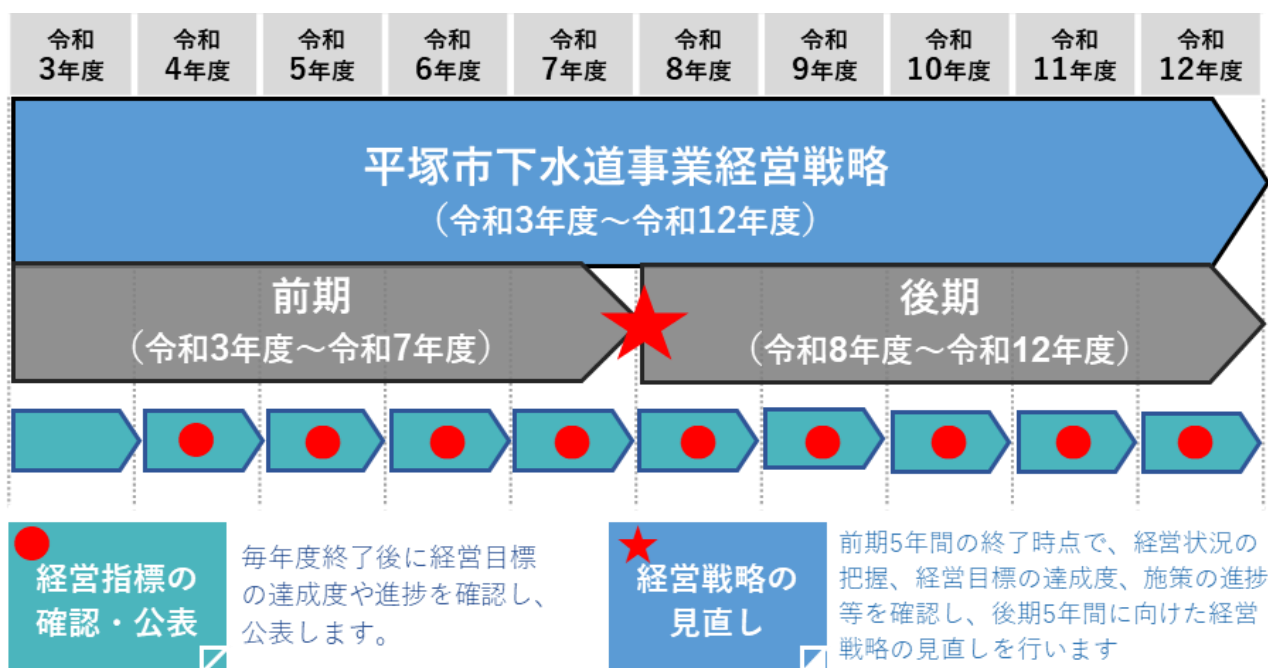
平塚市

## はじめに

平塚市では、市民に下水道サービスを持続的・安定的に提供するとともに、中長期的な視点で経営環境の変化に対応し、一層の経営基盤の強化と収支が均衡する持続可能な経営を図るため、今後10年間に目指すべき方向と事業管理のあり方を示す「平塚市下水道事業経営戦略」（以下「経営戦略」という。）を令和2年度に策定しました。

この計画では、PDCAサイクルを確実に実施するため、毎年度終了後に、本経営戦略で掲げた経営目標の達成度や施策の進捗に関して確認を行い、公表するとともに、確認結果を基に次年度以降の施策の実施方法について改善を行うこととしています。

また、計画期間の前半5年を前期、後半5年を後期とし、中間年次の令和7年度に前期の目標達成度合いの分析を実施し、必要に応じた経営戦略の見直しを行います。



### 【経営目標の達成度確認方法】

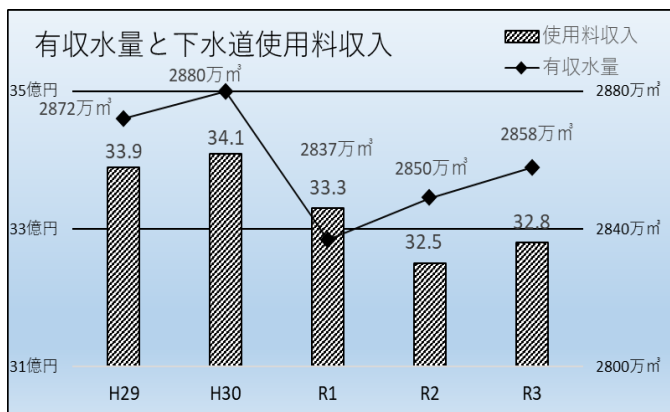
毎年度終了後に、決算数値などから経営指標を算出します。その結果を計画の推計値や目標数値と比較し、達成度や進捗状況の確認を行います。

また、類似下水道事業体との比較（※）を行い、経営状況を把握します。

※経営戦略では、現状分析で行う比較対象団体として10団体（小田原市、茅ヶ崎市、川越市、所沢市、春日部市、柏市、流山市、八千代市、宝塚市、那覇市）を選定していますが、各団体の令和3年度の決算数値や経営指標の公表時期に差異があることから、比較データは総務省HPの「地方公営企業の決算（令和2年度）」に掲載されている各団体のデータを参考として使用しています。



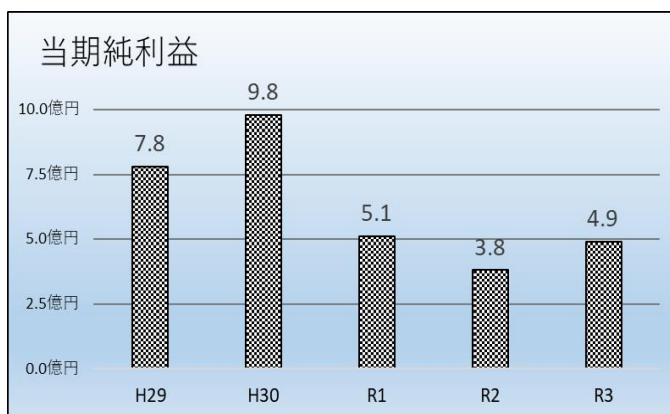
## 令和3年度 決算の状況



有収水量は前年度から8万m<sup>3</sup>増加しました。累進逓増制の下水道使用料は、事業所排水量の増加により、前年度から0.3億円増加し、32.8億円となりました。

<推計値との差>

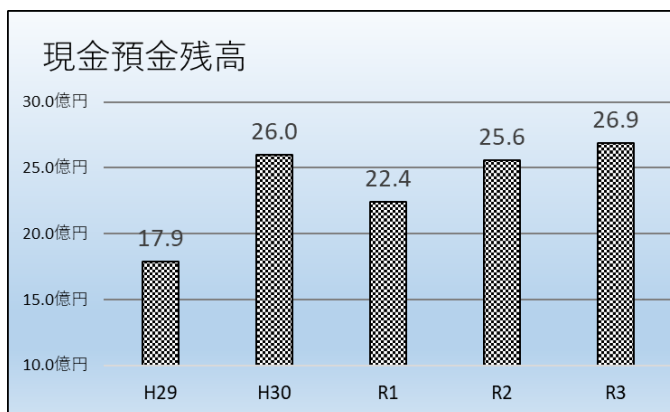
令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
32.6億円	32.8億円	+0.2億円 ○ (良い)



当期純利益は、支払利息の減少や使用料収入の増加等により、前年度から1.1億円増加し、4.9億円となりました。平成28年度の企業会計移行後6年連続で純利益を計上しました。

<推計値との差>

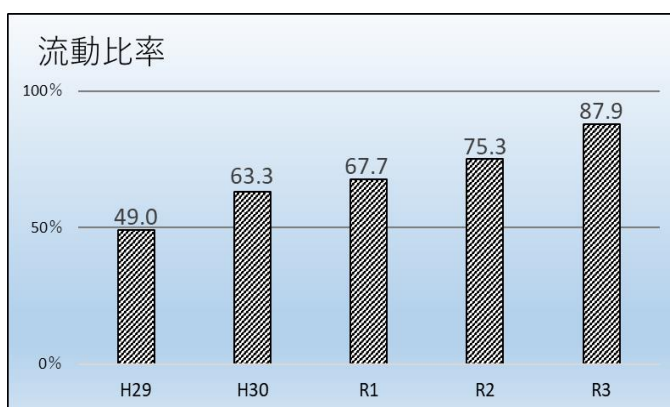
令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
2.0億円	4.9億円	+2.9億円 ○ (良い)



現金預金残高は、支払利息の減少や使用料収入等の増加等により、前年度から1.3億円増加し、26.9億円となりました。

<推計値との差>

令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
20億円	26.9億円	+6.9億円 ○ (良い)

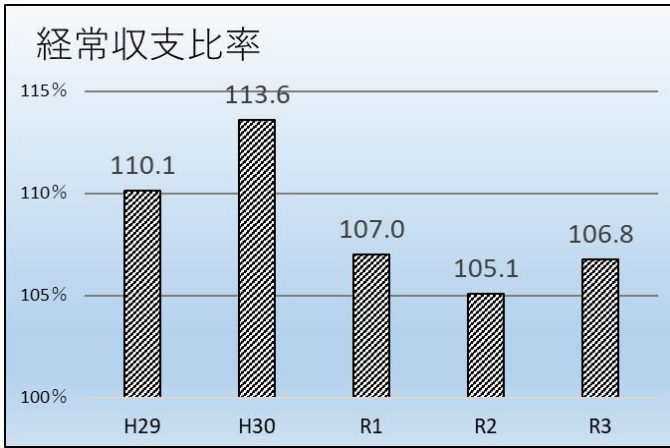


流動比率は、流動負債に対する支払い能力を示す指標で、100%以上が理想です。現金預金の確保と支払利息の減少により、比率は増加傾向にあります。令和3年度は前年度から12.6ポイント増加し、87.9%となりました。

<推計値との差>

令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
65.9%	87.9%	+22.0% ○ (良い)

(令和2年度の類似団体平均値：153.6%)

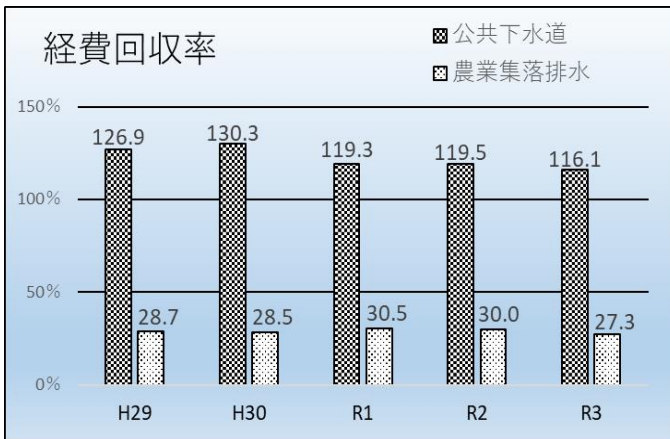


経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを示す指標です。令和3年度は費用が減少、収益が増加したことで前年度から1.7ポイント増加し、106.8%となりました。

<推計値との差>

令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
102.7%	106.8%	+4.1% ○(良い)

(令和2年度の類似団体平均値：106.0%)

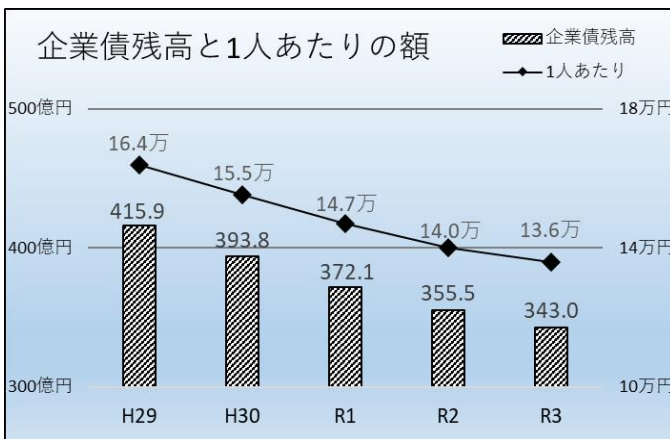


経費回収率は、汚水処理費用を使用料収入でどの程度賄えているかを示す指標です。公共下水道・農業集落排水ともに使用料収入と汚水処理費は前年度から増加し、公共は3.4ポイント減少の116.1%、農集は2.7ポイント減少の27.3%となりました。

<推計値との差>

令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
115% (公共)	116.1% (公共)	+1.1% ○(良い)

(令和2年度の類似団体平均値：98.1%)

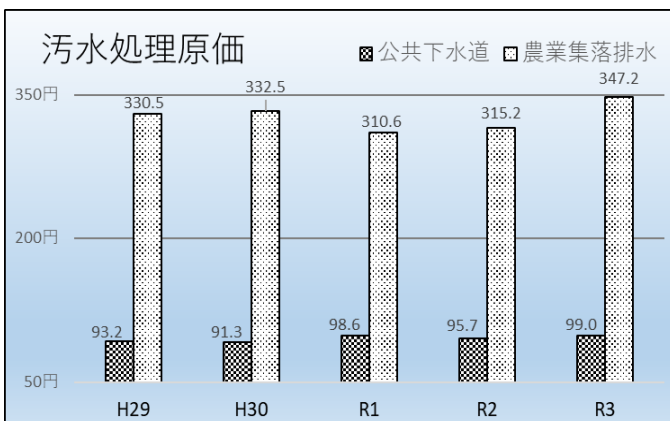


企業債残高は、計画的な償還により減少傾向にあります。令和3年度は前年度から12.5億円減少し、343億円となりました。1人あたりの額については前年度から0.4万円減少し、13.6万円となりました。

<推計値との差>

令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
355.1億円	343億円	-12.1億円 ○(良い)

(令和2年度の類似団体平均値：238.5億円)



汚水処理原価は、有収水量1㎡あたりの汚水処理費です。公共下水道・農業集落排水ともに汚水処理原価は前年度から増加し、公共は3.3円増加の99円/㎡、農集は32円増加の347.2円/㎡となりました。

<推計値との差>

令和3年度推計値	令和3年度決算値	比較結果
100.7円/㎡ (公共)	99.0円/㎡ (公共)	-1.7円/㎡ ○(良い)

(令和2年度の類似団体平均値：119.4円/㎡)

# 平塚市下水道事業経営戦略 経営目標 進捗状況(令和3年度末時点)

## 活動指標

ヒト

「組織・人材」

### 基本方針②

## 下水道事業を担う人材の育成と効率的な業務環境づくり

	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	目標数値 (令和7年度)	目標数値との差	目標数値 (令和7年度)	目標数値 (令和12年度)
研修受講者数 (内外部、職場)	31人	44人	59人	60人	-1人	60人	60人
労働生産性 (営業収益/損益勘定職員数)	230,843千円	227,566千円	205,691千円	231,000千円	-25,309千円	231,000千円	231,000千円

※労働生産性：労働の成果を労働量で割ったもの。ここでは職員1人当たりでどれだけ成果を生み出したかを示す。  
 ※損益勘定職員：下水道事業に所属している職員のうち、主に収益的収入及び支出に関する業務に従事している職員。

- 研修受講者数は、公営企業会計研修や下水道法改正説明会への出席など、前年度から15人増加しましたが、目標数値を下回る59人となりました。
- 労働生産性は、営業収益が令和2年度より増加しましたが、事業の整理と人員配置の見直しを行った結果、目標数値を下回る205,691千円となりました。

## 経営指標

カネ

「財務」

### 基本方針③

## 下水道事業の経営の効率化と経営基盤の強化

	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	推計値 (令和3年度)	推計値との差	目標数値 (令和7年度)	目標数値 (令和12年度)
経費回収率 (公共)	119.3%	119.5%	116.1%	115%	+1.1%	100%以上	100%以上
当期純利益	5.05億円	3.81億円	4.93億円	2.0億円	+2.93億円	黒字確保 建設改良積立1億円	黒字確保 建設改良積立1億円
流動比率	66.5%	75.3%	87.9%	65.9%	+22.0%	70%以上	75%以上

- 経費回収率（公共）は、令和2年度から3.4%減少しましたが、推計値及び目標数値を上回る116.1%となりました。
- 当期純利益は、令和2年度から1.12億円増加し、推計値及び目標数値を上回る4.93億円となりました。公営企業会計の適用開始から6年連続で純利益を計上しています。
- 流動比率は現預金残高の増加により、令和2年度から12.6%増加し、推計値及び目標数値を上回る87.9%となりました。

## 活動指標

情報

「広報」

### 基本方針④

## 下水道情報の発信拡充による認知向上

	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	目標数値 (令和7年度)	目標数値との差	目標数値 (令和7年度)	目標数値 (令和12年度)
エンゲージメント率	12.3%	— ※R2年度はSNS投稿実績なし	7.2%	19.7%	-12.5%	19.7%	19.7%
イベント参加人数	200人 ※R1年度は中止(台風)のため、前回実績(H29)	— ※R2年度は中止(コロナ)のため、実績なし	— ※R3年度は中止(コロナ)のため、実績なし	500人	-500人	500人	500人

※エンゲージメント率：SNSに投稿し、閲覧された際の反応の割合（「いいね」、クリック、シェアなど）がどれだけあったかを計るもの。

- エンゲージメント率は、SNSの投稿件数が令和元年度より増加しましたが、目標数値を下回る7.2%となりました。
- イベント参加人数は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により下水道ふれあいまつり等のイベントが中止となり、実績なしとなりました。

## まとめ

令和3年度は、下水道使用料収入が前年度の落ち込みからやや回復し、4.9億円の純利益を計上するとともに、現金預金残高も公営企業会計に移行して以来最高となる26.9億円を確保することができました。また、企業債残高は、計画的に償還を進めることにより減少傾向にあり、支払利息の減少と現金預金の増加等により、流動比率は増加傾向にあります。その他の決算数値や経営指標も推計値を下回る項目はなく、下水道事業は安定した経営状況であったと考えています。

しかしながら、今後は人口減少等による下水道使用料の減少や、老朽化した下水道施設の維持管理費の増加等により経営環境はますます厳しくなることが見込まれます。また、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻などの影響を受け、原油価格等が高騰し、電気料金の値上げや物価上昇を引き起こしている状況についてはしっかりと注視し、一層の経費節減に努めるとともに、適正な使用料のあり方について検討します。

今後も、引き続き毎年度の進捗管理を行うとともに、各経営目標等の達成に向け、取組みを強化します。また、計画期間の中間年次の令和7年度には、前期の目標達成度や施策の進捗状況の確認のほか、脱炭素化など新たな取組みも検討に加え、後期5年間に向けた経営戦略の見直しを行います。

### 平塚市下水道事業経営戦略

令和5年2月

平塚市 土木部

下水道経営課・下水道整備課

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号

電話：0463-23-1111（代表）